

面積約3400㎡、消
本部及び三次消防署庁
（緊急車両用車庫含
、訓練塔（主訓練塔・
訓練塔）、公用車庫兼
防資機材庫（別棟）を
つ。

参考業務規模は1億3
00万円、想定事業費
18億円をそれぞれ上限
とする。建設工期は25年
頃から26年3月頃。履
期間は24年10月31日ま

審査委員会の委員は川
高広島県土木建築局建
技術担当部長、堂本昌
三次市副市長、桑田秀
向総務部長、加藤伸司
建設部長、山田大平同
機管理監、大原直樹庄
市副市長、島田虎往同
務部長、石原博行同環
建設部長、谷川真澄備
地区消防組合消防長が
めた。

格は8億4092万円、
予定価格は9億1421
万円としていた。工事内
容は工事延長1430
m、道路改良一式・道路
土工一式（掘削工20万9
針。
計画によると、統合小
は、現在の長江中学校敷
地内のグラウンド側に新

ールも整備。整備後は、
現在のグラウンド側敷地
に校舎・屋内運動場など
すべてを集約する。
統合小は25年度からを
予定しており、新校舎完

江統合中学校（防地町）
の基本・実施設計につい
ては、別途発注される見
通し。両校の校舎新築な
どに係る事業費は約64億
円を見込んでいる。

安全衛生協力会を設立

「安全・高品質の文化創造を」

福徳技研

福徳技研（広島市中区
東千田町2-1-3-26、徳
納剛社長＝写真）は15日、
同社安全衛生協力会の設
立に伴う第1回総会を開
催し、協力会の会長に徳

納氏、副会長には中元秀
男氏（アップルコーポレ
ーション）を選出。これ
を機に安全と品質をさら
に高め、社会貢献と協力
会の繁栄を目指す方針を
申し合わせた。

へと事業範囲・規模を拡
大してきた約60年間の歩
みを振り返り、「今後も安
定成長を目指す中でも、
優先するべきはやはり安
全と品質。与えられた環
境の中でベストを尽く
し、社会とお客様に喜ん
でもらえる会社にした
い」と強調。「まだまだ暗
中模索の状況ではある
が、安全と高品質を求め
るわが社の文化を創造す
るため、皆様との横のつ
ながりを大切にして頑張

つていく」と呼びかけた。
また、安全品質を担当
する渡邊信弘専務は、「皆
様のおかげで完工高、現
場数ともに増え、若い社
員も増えてきたが、事故
があれば品質も利益も吹
き飛んでしまう。ぜひと
もルールを守って安全作
業の徹底をお願いした
い」と述べた。



第1回総会には、設立
メンバーとなった14社と
福徳技研の幹部など合わ
せて約20人が出席した。
開会あいさつで徳納会
長は会社設立以来、土木
工事業から塗装工事業、
コンクリート補修工事業

このほか、安全講話も
開かれ、石森武志統括部
長が「事業主責任と安全
管理」をテーマに労働災
害を防止するために守る
べき基準や、国が実施す
る労働災害防止施策に協
力することの重要性など
を説いた。

WATER JET 工法

区画線抹消／コンクリートの表面処理・ハツリ・削孔

